

東京東信用金庫・中田清史理事長とのトップ対談

■とき…令和6年6月13日(木) ■ところ…東京東信用金庫本部会議室

コロナ後の事業者の実情にあわせた 経営改善、事業再生に向けた支援

田口(会長) 本日はお時間をいただき、ありがとうございます。この6月をもって、8年間務めたTKC東・東京会会長を退任します。在任中は東京東信用金庫様には大変お世話になりました。今後も東京東信用金庫様とTKC東・東京会との連携を引き続き、よろしく願います。

中田(理事長) 本日はTKC東・東京会とのトップ対談の機会をいただき、ありがとうございます。

昨今の東京東信用金庫取引先事業者を取り巻く環境は、昨年5月のコロナ5類移行後、地域経済がインバウンドも含め正常化に戻りつつあります。しかし、円安をはじめとした環境の中、業種を問わず好不調二極化の傾向があります。

商工リサーチの調査では、2023年度

1千万円超の負債額の倒産は9000件超、2022年度対比31・5%増となっております。倒産件数は2014年度以来9年ぶりの9000件超となっております。負債総額も2年連続で増加しています。

このような中、当庫としては、資金繰り支援をはじめコロナ後の事業者の実情にあわせた経営改善、事業再生に向け、お客様のライフサイクルにあわせた適切なご提案を行えるよう、今年4月に与信管理部にありました「企業支援担当」を「お客様サポート部」へ組織変更を行いました。

また、当庫だけでは対応できないこともあり、一番近くで事業者を支援していただけるTKC東・東京会をはじめとした税理士の皆様との連携は重要で効果的なものだと考えており、引き続き連携を図っていききたいと思っております。

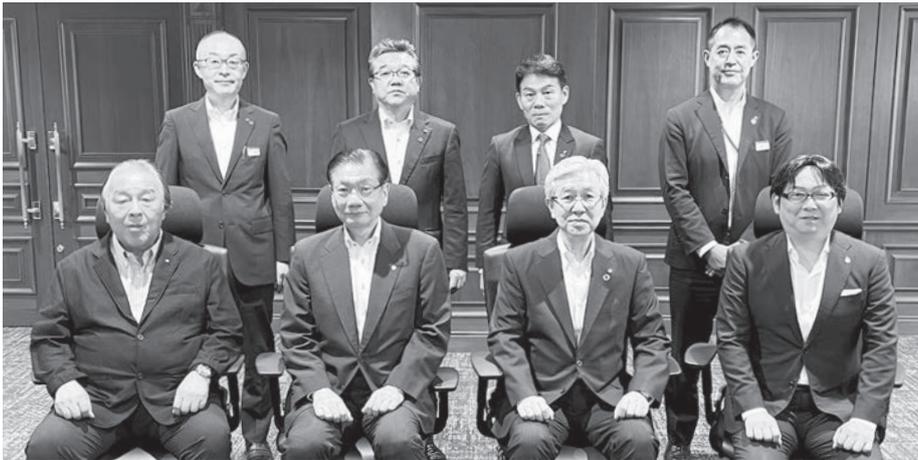
出席者 (敬称略)

- 東京東信用金庫
 - 理事長 中田清史
 - 常勤理事 湯浅博
 - 常勤理事 井澤剛
 - お客様サポート部執行役員部長 鎌田容行
 - 与信管理部部長 三國屋崇
- TKC東・東京会
 - 会長(対談時) 田口 操
 - 理事 田尻吉正
 - 中小企業支援委員長 田尻重暁
 - 事務局長 森脇一光
 - 事務局員 福本英幸

経営者保証なしの融資が80%を超えるまでに増加

田尻(委員長) 経営者保証ガイドライン3要件に対応できるTKC会員事務所が行う業務について、まず、決算書の信頼性の観点から税理士法33条の2に基づく書面添付は非常に重要と考えています。次に、財務経営力の強化支援では、自計化を行っていただき、会計事務所として経営助言も含め関与先を支援しています。

また、MISは、東京東信用金庫様において、1000件を超える実践がされており、全国の信用金庫の中で上位に位置しています。今後もTKC東・東京会会員事務所において、月次試算表も含め積極的に取り組んでいきたいと思っております。



前列：中田清史理事長（右から2人目）を囲んで。左へ田口操会長（対談時）、田尻吉正理事、右へ田尻重暁委員長
後列：左から三國屋崇部長、井澤剛常勤理事、湯浅博常勤理事、鎌田容行執行役員部長

田尻（理事） 書面添付は、我々会計事務所が毎月関与先を訪問し、月次決算を行い、その結果として決算時に書面添付を提出しています。書面添付は対税務署という側面もありますが、金融機関にとっても事業者の状況を知るうえで参考になると思います。ぜひご活用ください。

田口（会長） 書面添付は、経営者保証

ガイドライン3要件に示されている法人と経営者との関係の明確な区分・分離を担保するものになっています。税理士は書面添付に虚偽記載をすると処分をうけることになっており、そういった観点でも決算書の信頼性が担保されていると言えると思います。その決算書を、MISを通じ、金融機関に税務申告と同時に決算書を提供しています。

井澤（常勤理事） 経営者保証ガイドラインへの対応について、当庫では、経営者保証に関するチェックリストを作成しております。経営者保証を付けない融資は保証協会などの保証付き融資を除くと80%を超えるまでに増加しており、今後も積極的に取り組んでいきたいと思っています。

『TKC経営指標(BAST)』の見方を金庫職員が理解して本業支援のヒントに

田尻（委員長） 今後の東京東信用金庫、TKC東・東京会との更なる連携の中で、昨年はインボイスをテーマに金庫職員勉強会を行いました。今年も「決算書の見方」や「伴走支援に必要な決算書と変動損益計算書の基礎知識」などをテーマに開催していきたいと思っています。

湯浅（常勤理事） 当庫の各営業店では本業支援において、資金繰り、経営改善について実行可能な提案をお客様に適切な助言を行う必要があります。そのため、金庫職員勉強会では『TKC経営指標』（以下、BAST）で同業者と比べてどうか、製造業、卸売業、小売業で注目すべきポイントはどこなのかなどについて研修を行っていたかとありがたいと思っています。営業店では本業支援を行う中で、業種によってポイントが違います。BASTの見方を金庫職員が理解することにより、本業支援のヒントになると思います。

三國屋（部長） 当庫では、支店ごとにBASTを見ることができます。今仰った金庫職員向けの研修を行っていただければ、大変ありがたい機会になります。

田口（会長） 金融機関様向けの業種別審査事典はBASTの数字が記載されています。それと最新のBAST数値を合わせると、金融機関様で非常に有効活用できると思います。

中田（理事長） 当庫としてはBASTを高く評価しており、この研修を受け、さらに活用していきたいと思っています。今後ともよろしく願います。

（TKC東・東京会事務局長 森脇一光）